

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2011-48368(P2011-48368A)

【公開日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-185776(P2010-185776)

【国際特許分類】

G 09 F 3/02 (2006.01)

【F I】

G 09 F 3/02 U

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月2日(2011.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象物の温度を提示する装置であって、

第1の面から、この面とは反対の第2の面へ蒸気を放出することができるよう構成された穿孔を有する多孔質基材と、

第1相変化温度を有する第1の相変化インクを用いて、前記多孔質基材の第1の面に印刷される第1画像パターンの鏡像と、

前記多孔質基材の第1の面に塗布されて、第1の面と対象物との間に第1画像パターンを配置するため、対象物に前記多孔質基材の第1の面を貼り付けられるようにする接着剤層と、を含む装置。

【請求項2】

請求項1に記載の装置であって、

前記相変化インクは、疎水性である、装置。

【請求項3】

請求項1に記載の装置であって、

第2相変化温度を有する第2の相変化インクを用いて、前記多孔質基材の前記第1の面に印刷される第2画像パターンの鏡像を更に含み、

前記第1相変化温度は、前記第2相変化温度よりも低い温度である、装置。

【請求項4】

請求項1に記載の装置であって、

前記第1の相変化インクは黒色である、装置。

【請求項5】

請求項1に記載の装置であって、

前記第1画像パターンの前記鏡像は、同じ相変化温度を有する少なくとも2種類の相変化インクを用いて印刷され、前記鏡像の印刷に用いられる前記2種類の相変化インクは、異なる色を有する、装置。

【請求項6】

請求項1に記載の装置であって、

前記相変化インクと前記接着剤層の間に設けられる熱絶縁層を更に含む、装置。

【請求項7】

温度を提示する物を製造する方法であって、

第1画像パターンの鏡像を形成するために、多孔質基材の第1の面に第1の相変化インクを印刷し、

多孔質基材の第2の面へ多孔質基材を通って第1の面の蒸気を放出することができるよう、多孔質基材に孔をあけ、

多孔質基材の第1の面に接着剤を塗布し、

第1の面に印刷された鏡像が多孔質基材と対象物との間に差し込まれるようにして、塗布された接着剤により多孔質基材を対象物に貼り付ける、方法

**【請求項8】**

請求項7に記載の方法であって、

接着剤層は、多孔質基材上に印刷された鏡像を覆うように塗布される、方法。

**【請求項9】**

請求項8に記載の方法であって、

相変化インクと接着剤層の間に熱絶縁層を更に配置する、方法。

**【請求項10】**

請求項7に記載の方法であって、

接着剤層と対象物の間に熱絶縁層を更に配置する、方法。